

中学生の学校回避感情と学校適応について

工藤有莉(東京家政大学大学院人間生活学総合研究科)

【問題と目的】

不登校児童生徒は全児童生徒数の1.3%にあたる12万5991名となり、平成9年以降、10万人を超えてほぼ横ばい状態にある(文部科学省, 2017)。

不登校には学校回避感情の有無が影響しており(石井・高木, 2002), 学校回避感情には学校適応や自己肯定感, 自尊感情が関連していることが明らかになっている(松井, 2002)(粕谷・河村, 2004)(伊藤, 2011)。

そこで本研究では中学生の学校回避感情と学校適応の関連について明らかにする。学校適応として自尊感情, 勉強, いじめ, 生死観に注目し, 不登校予防として効果的な支援について考察することを目的とする。

【方法】

調査対象:A市中学校1~3年生488名。

調査期間:2016年11月

調査内容:フェイスシート、登校回避感情測定尺度、学校適応、家庭状況、抑うつ感、東京都版自尊感情尺度、生きる力、いじめ、相談相手

【結果と考察】

学校回避感情について Table 1 に示す。

	4 とてもあ てはまる	3 だいたい あてはま る	2 あまりあ てはまら ない	1 まったくあ てはまら ない	平均	SD
1. なんとなく学校へ行きたくない	22 (4.9)	50 (11.1)	138 (30.7)	239 (53.2)	1.68	0.86
2. 学校へ行くより家のほうが居心地がよい	98 (21.8)	152 (33.9)	129 (28.7)	70 (15.6)	2.62	0.99
3. べつに学校に行かなくてもいいと思う	13 (2.9)	35 (7.8)	141 (31.4)	260 (57.9)	1.56	0.76
4. 教室にいと、つらくて苦しくなる	2 (0.4)	7 (1.6)	71 (15.8)	369 (82.2)	1.20	0.47
5. 学校が怖くて、不安になる	7 (1.6)	7 (1.6)	62 (13.8)	373 (83.1)	1.22	0.54
6. クラスの友だちと顔を合わせたくない	2 (0.4)	9 (2.0)	64 (14.3)	374 (83.3)	1.196	0.47
7. 先生と顔を合わせたくない	4 (0.9)	6 (1.3)	64 (14.3)	375 (83.5)	1.196	0.49
8. 朝になると、頭痛や腹痛など体調が悪くなる	7 (1.6)	21 (4.7)	81 (18.0)	340 (75.7)	1.32	0.64
9. 学校へ行って人と話したくない	8 (1.8)	5 (1.1)	59 (13.1)	377 (84.0)	1.21	0.54
10. 家から出たくない	15 (3.3)	31 (6.9)	89 (19.8)	314 (69.9)	1.44	0.76

全体的に、学校回避感情が低く、友人関係や、対教師関係が友好であるという結果が得られた。

次に学校回避感情を3群にわけ、学校適応との多重比較をした結果を Table 2 に示す。

	学校回避感情			F値	多重比較
	低群 (N=287)	中群 (N=91)	高群 (N=71)		
1 担任の先生は困った時に助けてくれる	3.67 (0.49)	3.40 (0.61)	3.01 (0.81)	38.44 **	高<中<低
2 友だちは、わたしのことをわかってくれている	3.62 (0.55)	3.26 (0.61)	2.89 (0.81)	45.34 **	高<中<低
3 勉強のやり方がよく解らない(逆転項目)	2.85 (0.89)	2.45 (0.99)	2.39 (0.90)	11.39 **	高<低、中<低
4 担任の先生は信頼できる	3.67 (0.53)	3.34 (0.65)	2.86 (0.79)	53.34 **	高<中<低
5 悩みを話せる友だちがいる	3.63 (0.64)	3.22 (0.75)	3.01 (0.81)	28.25 **	高<低、中<低
6 授業がよく分からないことが多い(逆転項目)	3.16 (0.75)	2.88 (0.89)	2.52 (0.80)	20.24 **	高<中<低
7 担任の先生はわたしのことをわかってくれている	3.44 (0.57)	3.01 (0.56)	2.70 (0.78)	50.03 **	高<中<低
8 元気がないとき、友だちはすぐ気づいて、声をかけてくれる	3.47 (0.63)	2.92 (0.73)	2.76 (0.80)	43.37 **	高<低、中<低
9 勉強の問題が難しいとすぐにあきらめてしまう(逆転項目)	3.09 (0.80)	2.63 (0.95)	2.39 (0.93)	24.16 **	高<低、中<低
10 担任の先生はわたしのいいところを認めてくれている	3.42 (0.54)	3.04 (0.53)	2.86 (0.70)	35.27 **	高<低、中<低
11 一緒にいるとホッとできる友だちがいる	3.79 (0.44)	3.48 (0.72)	3.21 (0.79)	32.72 **	高<中<低
12 勉強についていけないのではないかと不安になる(逆転項目)	2.77 (0.97)	2.38 (1.00)	2.06 (0.90)	17.82 **	高<低、中<低
13 担任の先生は、私のことを気にしてくれている	3.30 (0.64)	2.96 (0.55)	2.75 (0.71)	26.61 **	高<低、中<低
14 嫌なことがあると、友だちは怒めたり励ましたりしてくれる	3.60 (0.55)	3.18 (0.74)	2.85 (0.78)	47.01 **	高<中<低
15 自分は、勉強はまあまあできると思う	2.61 (0.81)	2.46 (0.79)	2.24 (0.81)	6.32 *	高<低
16 私は学校に行くのが楽しみだ	3.53 (0.56)	2.82 (0.66)	2.28 (0.77)	135.40 **	高<中<低
17 私は、この学校が好きだ	3.58 (0.54)	2.90 (0.68)	2.42 (0.80)	118.82 **	高<中<低
18 学校で友だちに会えるのがうれしい	3.71 (0.45)	3.24 (0.56)	2.66 (0.90)	103.50 **	高<中<低
19 クラスの中に、安心できる居場所がある	3.63 (0.50)	3.14 (0.62)	2.54 (0.87)	103.76 **	高<中<低
20 学校での勉強や行事など、もっとがんばりたいと思う	3.76 (0.47)	3.27 (0.66)	3.04 (0.74)	58.73 **	高<中<低

多重比較: 低=学校回避感情低群, 中=学校回避感情中群, 高=学校回避感情高群
 有意確率: *p<0.05 **p<0.01

学校回避感情と学校適応についての関連を検討した結果、友人関係や対教師関係、勉強、学校での居場所など、全ての項目で有意な関連が示された。

以上の結果から、学校回避感情を有している生徒は、友人や教師との関係、勉強、学校での居場所など、学校生活を送るうえでの何らかの不適応や悩みを抱えていることが明らかになった。学校生活での不適応を抱えることによって、学校回避感情が高まっていくことが推察される。